

マテリアリティ

マテリアリティは、井関グループが目指す姿や長期ビジョンの実現に向け、優先的に取り組む重要な課題です。SWOT分析などを通じて特定したリスク・機会や目指す姿と経営戦略との整合を図るとともに、サステナビリティ外部専門機関のレビューを経て、マテリアリティを改訂しました。マテリアリティの各項目に対しては、KPIの設定・具体的な取り組み計画を策定し実行しています。ESG委員会で進捗管理を行い、取締役会に報告しています。

マテリアリティ	目指す姿 (2030年)		関連するSDGs	リスクと機会		KPI	注力テーマ (戦略)	
				リスク	機会			
事業を通じた価値創造	共通	豊かな社会の実現へ貢献する商品の開発やビジネス創出		各国政策変化への対応 他社との競争、経済情勢・農業環境の変化 気候変動、環境負荷低減、自然災害、感染症など 欧米市場で中国勢をはじめとするゼロエミッション(EV)商品に劣後、遅延	新たな需要・ニーズ イノベーションによるビジネス創出と新たな価値創造 電動化製品需要の高まり 景観整備事業、個人ホビー市場における電動製品の浸透	先端技術知財の拡充 重点戦略分野への研究・開発投資割合の拡大	需要・ニーズ変化への対応 イノベーションによるビジネス創出と新たな価値創造割合の拡大	
		農業の生産性向上	国内	スマート農機やデータを活用した農業の普及・促進により持続可能な農業の実現へ貢献する	国内農家戸数減少と高齢化、請負増加による需要減速	国内農業の大規模化、作付け多様化 食料安定供給確保に向けた施策展開 スマート農業の普及(データ駆動型、環境保全型農業) DXによる異業種との連携	大型農機、スマート農機の普及	大規模農家取り組み強化 DX、スマート戦略強化 収支構造改革加速
			アジア	日本で培った稲作技術を生かし、各国・地域に適した農業機械の提供を通じて農業の機械化による生産性向上に貢献する		アセアン・インドなど(主産物コメ地域)の農業の機械化進展 東アジアなどスマート農業の普及(データ駆動型、環境保全型農業) TAFE社生産による価格競争力ある商品のアセアン市場への展開	アジア地域への商品浸透	IST社を起点としたアセアン事業基盤づくり 高性能大型農機の投入 サービス体制強化
		生活の質の向上	北米	小型トラクタなどの提供により、趣味の園芸や農業などプライベートな生活充実を支援する	低価格化、インド・韓国・中国勢台頭 中国メーカーなどによるEV化の先行	電動化商品など新たな需要 当社商品販売増による「住み続けられるまちづくりを」といったSDGsゴールに貢献	北米、欧州向けトラクタ、芝刈機の販売拡大	TAFE社との協業による新たなビジネスモデル構築 AGCO社ブランド戦略展開サポート エコノミー仕様コストダウン機投入 連結化を展望した販売網再構築 電動化などの商材拡充 コンシューマー向け商品、インプル調達効率化
	欧州		美しい景観や環境を守ることで、住みよい街づくりに貢献する					
脱炭素社会と循環型社会の実現	環境に配慮した事業活動を通じて、脱炭素社会と循環型社会の実現に貢献する		環境関連規制強化 市場ニーズの変化による需要の低下 GHG排出削減ソリューション対応遅れによる競争力の低下 台風や水害などの自然災害による商品・サービス提供体制の停止 炭素税導入やエネルギー価格上昇によるコスト増	農業環境の変化に対応する商品・サービスの需要増 ・省エネ、省作業 ・GHG排出量削減 ・肥料・農薬低減 ・有機農業拡大 など 環境効率が高い設備導入によるコスト削減 資源消費の最小化 廃棄物の発生抑制による環境負荷の低い生産活動	エコ商品売上高比率 有機農業取り組み面積(水稲) CO ₂ 排出量削減 生産資源の削減や再利用	気候変動への対応 生物多様性保全 生産における資源循環		
レジリエントな経営基盤の構築	ブランド価値向上(信頼づくり)	社会課題の解決によって存在感を発揮し、ステークホルダーとの信頼関係構築とともに、リスク低減・回避につなげる	商品・サービスの重大な瑕疵・欠陥の発生 特定取引先・調達先への依存、原材料価格高騰、調達難、サプライチェーンの混乱 レピュテーションリスク	安全・安心、コストパフォーマンスの高い商品・サービスで顧客・ファンの獲得 取引先との信頼関係構築 地域での存在感、ブランド価値向上、共生による事業の安定化	顧客満足度の向上 CSR調達の推進 コミュニケーション活動の継続実施による地域社会との関係強化	顧客満足度向上と品質づくり サプライチェーンマネジメントの強化 地域社会との共生		
	従業員エンゲージメント向上	事業戦略の実行に向けた中核人材の確保 一人ひとりの力を最大限に引き出し「変革」を起こす チャレンジ精神あふれる人材を育成 従業員への安全・安心な職場の提供と働きがいのある職場づくり	労働力不足、人材の流出 人材の同質性・偏りによる組織・文化の硬直化 物的、人的被害による事業への影響 労災によるレピュテーションリスクや損害賠償 労働問題による人権侵害(ハラスメント、長時間労働など)	女性・専門家・外国人材の確保・育成によるイノベーション創出力向上 モチベーション向上、生産性向上 従業員の健康・安全確保	D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)の推進と教育の充実 エンゲージメントサーベイのスコア向上	多様な人材の活用と育成 健康経営の推進		
	ガバナンス強化による企業価値向上	経営環境の変化に迅速かつ確に対応し、公正な経営を維持する 必要な情報の迅速で正確な開示に努め、透明性のある企業づくり	リスク全般 ・法令違反リスク ・情報セキュリティに関するリスク ・国際的な事業活動に伴うリスク 他	事業活動の安定化 迅速な経営判断、適切なリスクテイクによる変革 情報開示により認知・理解促進 建設的な対話による信頼関係の構築	重大な法令違反と不祥事ゼロ エンゲージメント機会	ガバナンス体制の強化 内部統制の強化、コンプライアンスの徹底 リスクマネジメントによるリスク顕在化防止・損失の最小化、迅速な経営判断、適切なリスクテイク 情報開示と建設的な対話 情報開示ワーキンググループ・ESG委員会を通じた組織的な開示情報のチェック		
財務パフォーマンス向上	筋肉質な企業体質への転換 環境変化に対応できる経営体質・基盤を構築し、持続的な成長と企業価値向上に務める	経済情勢・環境変化による生産変動 株式市場動向、土地およびその他の固定資産の価値下落 為替レートの変動 借入金利上昇、財務制限条項抵触による繰上返済義務発生	変化に対応可能な最適生産体制構築 経営効率化、経営管理の高度化 成長戦略に沿った設備投資 調達方法の多様化	営業利益率向上 資産効率改善	構造改革 経営効率化 財務体質改善 キャッシュフロー創出			

マテリアリティの特定プロセス

マテリアリティの特定にあたっては、井関グループの基本理念や長期ビジョンの目指す姿の実現と社会課題(社会からの要請・期待)の両面から検討しました。サステナビリティ外部専門機関との対話による示唆を踏まえて、経営層で議論を行い、当社グループのマテリアリティを特定しました。

